４年生学生実習の現状報告

㈱スギヤマ調剤薬局
濱田圭介
Sugiyama Drugs Co.Ltd.

はじめに

◆スギヤマ調剤薬局高見店では今までに7名の大学生実習(10日間)を受け入れてきました。受け入れ当初は結果としてその場の状況でやるべきことを決めることが多く通常業務に影響がでることもありました。そこで実習のスケジュール化を図りました。

スケジュールについて

◆期間中に行うべき内容を細かく表記する。
◆学生側からは時間に従い実習を行う為ではなく、指示がなくとも何を行うのかを明記したものになります。
◆指導者側からは教えるべき内容を明記したものになります。

実習期間中の重点ポイント

◆学生のレベルではなく同じこと(必要なこと)を学んでもらうため、スケジュールと課題を明確にする。
◆学生自らが物事を考え、探し、学ぶことを学習してもらう為の実務実習とする。
◆スケジュール化することにより通常店舗業務への負担を最小限に抑え、円滑な店舗運営を行うことを目指す。

期間スケジュール(1週目)

1週目の目標：特殊調剤以外の調剤をこなす

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
9	自己紹介 店内見学	簡単（剤数の少ないもの）な処方箋を調剤する	簡単（剤数の少ないもの）な処方箋を調剤する	簡単（剤数の少ないもの）な処方箋を調剤する	簡単（剤数の少ないもの）な処方箋を調剤する
	待合で見学				
10	調剤の流れ 高見店の機能・守秘義務について				
11	調剤見学および処方箋の読み方				
12	休憩(45)	休憩(45)	休憩(45)	休憩(45)	休憩(45)
13	処方箋を読む（実務あり）・内規・薬袋の作成	調剤	調剤	調剤	調剤
14					
15	予製剤を作り薬の取扱を覚える（半錠など）	予製剤を作り薬の取扱を覚える（ヒートのまとめなど）	予製剤を作り薬の取扱を覚える（散剤など）	予製剤を作り薬の取扱を覚える（一包化予製）	学校薬剤師の業務について
16	休憩(15)	休憩(15)	休憩(15)	休憩(15)	休憩(15)
17	かかりつけ・薬局の掲示・処方箋受付・保険の種別	各種機器の説明	薬歴管理・電子薬歴・処方箋の管理	医薬品管理の全般・期限管理・薬の手配・医薬品の情報収集	その他
	医薬品管理・象注（内服）	医薬品管理・象注（外用）	医薬品管理・象注（散剤）	医薬品管理・象注	医薬品管理・象注
18	レポート課題（病院と薬局）	レポート課題（同一成分・併売）	レポート課題（同一薬剤名で使用のことなるもの）	レポート課題（医薬品の副作用例）	レポート課題（今週で出来るようになったことのまとめ）
	実習日誌	実習日誌	実習日誌	実習日誌	実習日誌

期間スケジュール(2週目)

2週目の目標：服薬指導など患者様対応についての実践

	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
9	散剤を含む処方箋を調剤する	散剤を含む処方箋を調剤する	散剤・水剤を含む処方箋を調剤する（つぶし処方など特殊処方箋があれば見学する）	散剤・水剤を含む処方箋を調剤する（つぶし処方など特殊処方箋があれば見学する）	散剤・水剤を含む処方箋を調剤する（つぶし処方など特殊処方箋があれば見学する）
10					
11					
12	休憩(45)	休憩(45)	休憩(45)	休憩(45)	休憩(45)
13	調剤（服薬指導の見学・監査見学）	調剤（服薬指導の見学）	調剤（服薬指導の見学）	ブレ服薬指導	ブレ服薬指導
14	他店見学	他店見学			
15	予製剤を作り薬の取扱を覚える（半錠など）	予製剤を作り薬の取扱を覚える（散剤など）	予製剤を作り薬の取扱を覚える（散剤など）	予製剤を作り薬の取扱を覚える（一包化予製）	予製剤を作り薬の取扱を覚える（一包化予製）
16	休憩(15)	休憩(15)	休憩(15)	休憩(15)	休憩(15)
17	注射剤等の使い方	吸入薬等・外用剤の使い方	服薬指導の実際・調剤報酬点数・POSとSOAP	患者対応の実際（調剤過誤・各種クレーム・医薬品手配）	体験した実務のまとめ
	医薬品管理・象注	医薬品管理・象注	医薬品管理・象注	医薬品管理・象注	医薬品管理・象注
18	レポート課題（処方解析）	レポート課題（疑義照会問題）	レポート課題（患者さんの質問にどのように答えるか？）	レポート課題（患者さんの信頼を得る為の心くばりは？）	薬剤師像とは？
	実習日誌	実習日誌	実習日誌	実習日誌	実習日誌

1、2週目の各ポイント

Sugiyama Drugs Co.Ltd.

1週目

◆実習初日に学生と実習期間のスケジュールについてミーティングを行う。その中で学生の希望に応えられるよう微調整を行う。(服薬指導見学の充実、経営的な観点からの話、調剤時間の拡大等)

◆実習の雰囲気(現場)、調剤に慣れることに重点をおく。

2週目

◆ 計数調剤以外の複雑な調剤を行う。

◆ チェーン薬局である自社の特徴を活かし他店舗見学を行う。

◆ 模擬処方箋による服薬指導を行う。

SUGIYAMA

1日の流れ

Sugiyama Drugs Co.Ltd.

9:00 実処方箋による調剤実務

15:00 予製薬の作成
半錠・散薬
軟膏など

・1週目は計数調剤、2週目は散剤・水剤を含む処方箋の調剤を中心に行う。

・予製薬を作り、薬の取り扱いを学ぶ

SUGIYAMA

Sugiyama Drugs Co.Ltd.

16:00 講義形式での各種説明

薬剤師倫理について
保険について
機器について
服薬指導について
etc..

17:00 レポート課題

自店で作成したレポート課題に取り組んでもらう。
(何を使って調べてもよい誰に聞いてもよい)

18:00 大学実習レポート作成

大学に提出する実習レポートの作成

SUGIYAMA

レポート課題を行う目的

Sugiyama Drugs Co.Ltd.

◆いろいろなことを学習しなければいけないことを感じてもらう。

◆答えを見つける方法を学んでもらう。

何を使って調べてもよい

誰に聞いてもよい

(自店スタッフには学生に聞かれたときに答えを教えるのではなく答えを気づかせるためのヒントを与えるようミーティングを行った。)

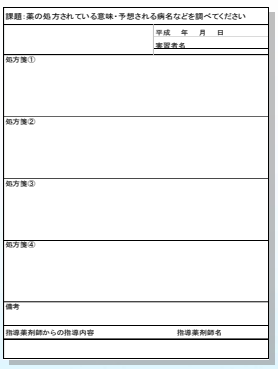
SUGIYAMA

Sugiyama Drugs Co.Ltd.

～実習6日目課題～

適応外処方を考えよう

◆ 保険適応外の使い方をしている医薬品の使用意図を調べる。


課題:薬の処方されている意味・予想される病名などを調べてください

平成　年　月　日

実習者名

処方箋①

処方箋②

処方箋③

処方箋④

備考

指導薬剤師からの指導内容　　指導薬剤師名

SUGIYAMA

Sugiyama Drugs Co.Ltd.

処方箋

皮膚科　(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です)

1)バルトレックス錠500mg　6錠
メチコバール錠500μg　3錠
ロキソニン錠60mg　3錠
ムコスタ錠100mg　3錠
1日3回　朝・昼・夕食後　7日分

2)アラセナA軟膏5g　2本
1日2回　腹部

3)トリプタノール錠10mg　3錠
1日3回　朝・昼・夕食後　7日分

例:処方箋①

◆皮膚科の帯状疱疹でトリプタノールが処方されている。

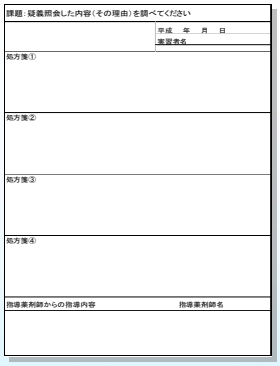
◆精神疾患や夜尿で使われる薬剤であるがこの処方意図は・・・

SUGIYAMA

～実習7日目課題～

何を疑義照会したのか？

◆実際に疑義照会した処方箋を用い、何を疑義したのか考える。


課題：疑義照会した内容（その理由）を調べてください

平成　年　月　日

実習者名

処方箋①

処方箋②

処方箋③

処方箋④

指導薬剤師からの指導内容　　指導薬剤師名

処方箋

1）ペリアクチン散1%	1.0g
アスペリン散10%	1.0g
ムコダイン細粒50%	1.0g
1日3回　朝・昼・夕食後	7日分
2）ペリアクチン散1%	0.6g
屯用　かゆみ強く眠れないとき	5回分
1）との併用は不可、6時間間隔をあける	

例：処方箋②

◆小児科の処方箋

◆何を疑義照会したのだろうか？

スケジュール化したメリット

◆学習内容の統一化ができた。

◆学生が指示を受けなくても何をするか考え実習を行うことができた。

◆自店スタッフへの負担が大きく減少した。

実習における改善点

◆スケジュール化されたが、調剤業務主体の実習となっている。

◆評価基準を明確化したものが現状ないため整備が必要である。

今後の目標　～6年生学生実習に向けて～

◆**スケジュール面**

モデル・コア・カリキュラムに沿った実習内容の作成

到達目標への達成度を測るチェック表の作成

◆**指導者の育成**

認定薬剤師の取得

認定実務実習指導薬剤師の取得

大学で行われる体験型学習法を学ぶ

㈱スギヤマ調剤薬局高見店の紹介

◆従業員数21名

◆総合病院の門前薬局(調剤専門)

◆備蓄医薬品数約2000品目

◆月平均処方箋枚数6000枚

(1日平均300枚)